

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年3月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	玉城町役場	代表者名	玉城町長 辻村 修一
担当者部署	総務政策課	連絡先電話番号	0596-58-8200
担当者役職	主事	担当者氏名	尾中 亮太
住所	519-0495 三重県玉城町114-2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	國領 二郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	第2回目支援では、第1回目支援を踏まえた修正内容のご報告と、計画書の最終版案についてご意見を賜ったが、表現の仕方や、記載内容の改善など最後まで丁寧にアドバイスをいただいた。また、全体を通して、基本方針、個別施策について、評価をいただき、玉城町として本計画を推進するにあたっての自信にもつながった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月1日	14時00分	15時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	個別施策の選定にあたっては、コロナ後のニューノーマルな視点やDXなど、新しい時代の要請を踏まえつつ検討を進めている。一方で、国の情報化施策においては、いくつかの指針は示されているものの、コロナの長期化やデジタル庁の創設など外部環境が日々刻々と加速度的に変化している。そこで、策定した施策が国の計画や方針との整合性が確保されているか、今後の予想される外部環境の変化や技術革新を踏まえた内容となっているかなど、町視点だけではなく、多角的な視点での評価が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	第1回目支援や、その後の検討を踏まえて作成した計画書案についてご報告させていただき、計画書の最終化を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	計画書の最終版案をご確認いただき、以下のご意見・ご助言をいただいた。 ・基本方針について、「一人ひとりのニーズに対応する」という表現をわかりやすく記載した方がよい。 ・【基本方針3】デジタル施策全体の最適化、安心・安全の実現について、他2方針と粒度が異なる気がする。クラウドサービスの活用等、思い切った書き方をしてもいいと思う。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	以下の点について、計画書への反映を行った。 ・基本方針の説明に「町民、職員等一人一人のニーズをくみ取り、誰一人取り残さない社会を実現するために」を追加した。 ・【基本方針3】デジタル施策全体の最適化、安心・安全の実現について、「クラウドサービスの利用等による」を追加した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 個別プロジェクトに係る支援であったため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	玉城町として、実現性・実効性のあるデジタル化計画を策定する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

フロント

段落

スタイル

たまきデジタル戦略推進計画

(D-PLAN)

～誰一人取り残さない、思いやりプロジェクト～

令和3年3月

目次

はじめに.....

第1章 計画の概要

2.計画の位置付け.....

2.1.法令上の位置付け.....

2.2.総合計画との関係.....

3.計画期間.....

4.SDGsとの関係.....

第2章 国の情報化政策の動向

1.「スマート自治体」の実現.....

2.「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」.....

3.デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針.....

4.デジタル・ガバメント実行計画.....

5.自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画.....

6.デジタル社会形成基本法.....

7.マイナンバーカードの利活用.....

8.「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改定.....

9.サイバーセキュリティ2020.....

第3章 玉城町の現状

第4章 基本方針

第5章 個別施策

【基本方針1】 町民サービスの向上、つながる地域の実現

1.1.町民ファーストな行政サービス

1.1.1.マイナンバーカードの普及・利活用促進.....

1.1.2.行政手続きのオンライン化.....

1.1.3.ワンストップサービスの推進.....

1.2.地域の暮らしを支えるデジタル化.....

1.2.1. デジタルを活用した子育て支援.....

1.2.2 保育現場のデジタル化.....

1.2.3. データヘルスの推進.....

1.2.4.地域見守りの強化.....

1.2.5. スマート農・商・工の実現.....

1.2.6.観光のデジタル化.....

1.2.7.公共事業に係るデジタル活用.....

1.2.8.防災・減災対策のデジタル化.....

1.2.9. 教育のデジタル化.....

1.3.わかりやすい情報発信・地域の情報化

1.3.1.SNS などを活用した広聴広報の強化.....32-

1.3.2.オープンデータの利活用促進.....33-

1.3.3.Web アクセシビリティの向上.....34-

1.3.4.地域コミュニティの新たなつながりの創出.....35-

玉城町総務政策課

Makoto Muramatsu

Jiro Kokuryo

Kubo, Aoi

Yuichi Nishimura